

各委員会審査報告

民生常任委員会報告

住民の声に応える福祉・医療を！



委員長 尾元 武

本委員会においては、議案の所管事項全般にわたり、十分な審査の結果、全件とも認定すべきものと決定した。

その主なものについて報告する。

福祉課関係

「保育料の滞納について」の質問に対し、催告等しているが引き続き保育所と連携をとり努力する。既卒園者の滞納者は、転出者8人、既卒園者14人との答弁。「社会福祉協議会補助金の対前年度比について」の質問に対し349万350円の増額で20年度は6,139万9千円との答弁。「老人クラブ助成事業補助金」に関する質問に対して、単位老人クラブは1団体あたり補助金は4万5,900円で、連合会については事業内容に基づいて支出しているとの答弁。「福祉関係の補助で全体的に減額になったものについて」の質問に対し、合併後18年度までは財源的に厳しく歳出を絞ってきたが、再度見直しをして減額は無くなっている。各種団体補助は殆んど19年度と同額。「食の自立支援」については町内全て週3回以内に統一しているとの答弁。



民生常任委員会

健康増進課・税務課関係

国民健康保険事業特別会計で、「平成20年

度の資格証と短期被保険者証の交付状況」についての質問に対し、資格証が94世帯130人、短期被保険者証が63世帯の116人とのこと。尚、急病など特別な事情で保険証が必要になった場合には発行が可能。相談内容に応じて臨機応変に対応しているとの答弁。

後期高齢者医療事業特別会計では、「平均保険料はいくらか」との質問に対して平成20年度の周防大島町の平均保険料は、4万9,991円との答弁。

公営企業局企業会計関係

「前年度約6,000万円の赤字が20年度2億5,000万円を超える赤字となっているが、その要因は、また将来的な展望は」との質問に対し、利益積立金繰入れにより翌年度繰越し欠損金は0にしている。赤字要因としては、東和病院の整形外科医の退職の影響が大きいと思われる。今後については、訪問看護ステーションを統合し経費の削減を図り、居宅介護支援事業所については人件費を削減したい。

大島病院は、現在80床を越える病床利用となり、医師も増え収入も増加している。交付税も増額となり経営は改善されると思う。診療単価を引き上げる等の患者負担増や入院単価の安くなる社会的入院等の長期入院患者に退院を強要することは避け、累積赤字もないため、このまま運営していく。東和病院については外科系の医師の補充を一番に考えている。現在の3病院を維持していきたい。との答弁。「大島看護専門学校卒業生の郡内病院への就職状況は」との質問に対し、年に4名から10名の卒業生を採用。他からの採用は少なく90%以上が卒業生との事。